



北前船ツアー

第2弾!

北前船と栄えた寄港地をめぐる旅 瀬戸内~大阪編 7日間 2月6日~12日 竹原・尾道・鞆の浦・岡山・神戸・淡路島・大阪

「国生みの島」淡路も訪問!! 7つの町をじっくり巡る大満足の旅!

江戸時代~明治にかけて活躍した北前船は、大阪から兵庫・瀬戸内海を通り、日本海側の各地に寄港しながら北海道に向かいました。各寄港地でその土地の特産品・商品を買ひ、他の地域で売りさばく、海の「総合商社」として各地に繁栄をもたらし、一攫千金を夢見た庶民の夢の舞台となりました。北前船の足あとをたどる旅・第2弾では、中世より瀬戸内海最大の港町として発展した尾道・竹原からスタートし、瀬戸内海沿岸の各寄港地を訪れながら、北前船の起終地となった大阪(大坂)を目指します。今回も、目玉のオンパレード!

当時貴重だった塩を産出した**竹原**、瀬戸内海最大の港町・**尾道**、海上交通の要衝・**鞆の浦**、岡山では午前中のフリータイムを活かして日本三大名園のひとつ**後楽園**の見学も。神戸ではフリータイム、かつて『**兵庫津**』として賑わいを見せた町を自由散策!

そして本ツアー最大の目玉は**淡路島!** 司馬遼太郎の『菜の花の沖』で描かれる蝦夷地開拓や日露民間外交の先駆者として活躍した高田屋嘉兵衛の生誕地・都志と、イザナギノミコトが祀られる伊弉諾神宮も訪れます!! かつ、淡路は古事記の冒頭で登場する「**国生みの島**」。古代・神話ファンなら一度は参拝してみたい崇高な神社ですね!!

もうひとつの目玉は、最終日、人気の西股先生が率いるお城ツアーと合流、**大阪城**の見学も! 毎日ひとつの町をじっくりと歩き、時間が許せば渡邊先生とともに港町をスケッチし、心を満たす旅を繰り広げます。お時間のある方は全日程のご参加を、時間に限りがある方はお好きな日を選んで1日だけでもご参加可能。いつもと違う視点で、北前船の足あとを、ぜひ一緒にたどりましょう!!



旅の締めくくりは、航海の安全祈願の神・住吉大社へ御礼参りを

	行程	食事・宿泊
1日目 2/6 (日)	<p>竹原駅→竹原伝統的建造物保存地区→尾道 12:30 JR竹原駅集合、徒歩で竹原伝統的建造物保存地区へ 北前船とは、江戸時代の中頃から明治30年代にかけて、大量の荷物を積んで大阪と北海道を日本海周りで往復していた商船のごとで、竹原や忠海にも寄港しました。竹原では主に塩を購入し、忠海では周辺から集められた様々な物資を取引していたことがわかっています。竹原の塩は、遠く北海道まで運ばれて行きました。 13:00 人気の「ほり川」でランチ(各自)後、徒歩にて散策 ・竹原伝統的建造物保存地区 ・旧吉井家住宅 ・常夜灯群 ・市立竹原書院図書館 など 17:00頃 散策後、ローカル線で尾道へ</p>	<p>朝: 一 昼: 各自 夜: 各自 泊: 尾道</p>
2日目 2/7 (月)	<p>尾道駅→尾道市内→福山 10:00 JR尾道駅集合、徒歩・バス・フェリーで、終日尾道散策 停泊しやすい地形から、中世より瀬戸内海最大級の港町として発展した尾道。室町時代以降は日本最大の海賊「村上海賊」が近くの芸予諸島に現れました。彼らはいわゆる金品を奪うような海賊ではなく、通行料と引き換えに水先案内や海上警護を請け負いました。江戸中期には寄港する船がさらに増え、石細工や塩、鉄錠などが尾道から各地へ積み出されています。なかでも良質な花崗岩の石細工は、北前船によって日本海側へと多く運ばれて行きました。 ・浄土寺 ・尾道の町並み ・住吉神社 ・巖島神社(向島) など ※ 途中、渡邊先生オススメのカフェ等でランチ(各自) 17:00頃 散策後、ローカル線で福山へ</p>	<p>朝: 各自 昼: 各自 夜: 各自 泊: 福山</p>
3日目 2/8 (火)	<p>福山駅→鞆の浦→岡山 9:20 JR福山駅集合、バスで鞆の浦へ(バス代は各自で・片道560円) 徒歩にて散策 万葉の時代から海上交通の要衝として瀬戸内で最も栄えた港町のひとつ。潮の分かれ目に位置する鞆は、潮待ち、風待ちの船が集まってくる天然の良港でした。豪商の屋敷や小さな町屋がひしめく町並みと人々の暮らしの中に、近世港町の伝統文化が息づいています。 ・重要伝統的建造物保存地区 ・常夜灯 ・雁木 ・波止 ・船番所 ・いろは丸展示館 ・沼名前神社 ・医王寺 ・寺町筋 ・淀媛神社 ・福禅寺対潮楼 ・鞆の浦歴史民俗資料館 など ※ 途中、保存地区内でランチ(各自) 17:00頃 散策後、バスで福山へ戻り、ローカル線で岡山へ</p>	<p>朝: ○ 昼: 各自 夜: 各自 泊: 岡山</p>
4日目 2/9 (水)	<p>岡山駅→下津井エリア→神戸 午前中 フリータイム、各自で後楽園、岡山城など散策をどうぞ(岡山城は大規模改修で休館中) 11:50 JR岡山駅集合、JR線・バスで下津井エリアへ(電車バス代は各自で・片道770円) 備前岡山藩の領地だった下津井。「風待ち、潮待ち」の天然の良港として昔から知られており、多い時には24軒もの廻船問屋がありました。この地域では綿の栽培が盛んで、北前船が運ぶ鯨粕の全国でも有数な需要地でした。鯨粕の引き換えとして、下津井では児島の塩が帰荷として喜ばれたとされています。 ・下津井町並み保存地区 ・旧荻野家母屋・鯨蔵(むかし下津井廻船問屋) ・祇園神社 ・旧野崎浜灯台(灯台) など ※ 途中、「むかし下津井廻船問屋」内でランチ(各自) 17:00頃 散策後、バス・ローカル線で岡山へ戻り、新幹線で神戸三宮へ</p>	<p>朝: ○ 昼: 各自 夜: 各自 泊: 三宮</p>



竹原伝統的建造物保存地区



夕暮れ時の尾道水道と行き交う船



地味だが深い建築が建ち並ぶ下津井の町並み

<p>5日目 2/10 (木)</p>	<p>神戸：終日フリータイム 各自で神戸の町をお楽しみください。 『兵庫津』を自由散策してみてくださいか？ 大坂とともに北前船の拠点港であった兵庫。兵庫津と呼ばれた港の近辺は、六甲連山によって北西の季節風が遮られ、和田岬によって西からの波浪が防がれ、さらに水深と投錨に適した海底の砂に恵まれて天然の良港が形作られていました。そのため、かねてより瀬戸内海の交通の要衝として、また外交の窓口として歴史に名をとどめていました。さらに、北前船の時代に高田屋嘉兵衛が択捉航路を開き、北海道物産交易の基地としても大いに賑わいました。なお、幕末、諸外国より開港を求められた幕府は、あえて当時人口希薄な東隣の神戸村を開港し、現在の神戸モダンズム発展へとつながります。 ・神戸海洋博物館 ・和田岬 ・高田屋嘉兵衛本店跡地 ・苦楽松右衛門の墓 など</p>		<p>朝：○ 昼：各自 夜：各自</p> <p>泊：三宮</p>
<p>6日目 2/11 (金・祝)</p>	<p>三ノ宮駅→淡路島→三ノ宮→大阪 8:30 JR三ノ宮駅集合、高速バスにて淡路島(都志)へ(乗車約1.5時間) 洲本市五色町都志は廻船業を興し、蝦夷地開拓や日露民間外交の先駆者として活躍した高田屋嘉兵衛の生誕地です。嘉兵衛は22歳の時に兵庫に出て拠点を構え、のちに函館に拠点を移し、幕府の御用商人となり豪商への道歩みます。択捉島と国後島間の航路開拓や漁場を開くなど、北方の開拓者としても活躍しました。 ・高田屋顕彰館 ・住吉神社 ・高田屋嘉兵衛邸宅跡 ・伊弉諾(いざなぎ)神宮 など 17:00頃 散策後、高速バスで三ノ宮へ戻り、ローカル線で大阪へ</p>		<p>朝：○ 昼：各自 夜：各自</p> <p>泊：大阪</p>
<p>7日目 2/12 (土)</p>	<p>大阪城→住吉大社→なんば・解散 9:20 大阪城公園集合、西股先生のお城ツアーと合流、城内見学 12:30 大阪城公園内でランチ(各自)後、住吉大社へ(電車代は各自) 北前船の起終地となった大阪(大坂)は、古来から国際港「難波津」「住吉津」を擁し、朝鮮半島や中国大陸など海外に開かれていました。北海道や日本海沿岸の地域との間を結ぶ北前船、江戸との間を結ぶ菱垣廻船をはじめ、京都との間を結ぶ三石船や伏見船など多くの船が往来し、出船千艘入船千艘の活況を呈していました。「菱垣新綿番船川口出帆之図」では、安治川沿いに立ち並ぶ蔵の白壁、吹き流しと昇り旗を掲げた小船や水夫たちの華やかな風景が描かれています。 14:30 住吉大社見学・参拝後、南海線で難波駅へ 17:00頃 難波駅で解散</p>		<p>朝：○ 昼：各自 夜：—</p> <p>お城ツアーと合流して大阪城見学も！</p>

◎ **古い町並みと蔵のプロが、皆さまをご案内します！！**

一級建築士 / 風組・渡邊設計室代表 **渡邊 義孝 先生**

住宅設計、民家再生、文化財調査等に従事。千葉県久留里、富山県城端などで歴史的建造物の再生に関わる。建築設計業務のかたわら、主にユーラシア各地の伝統的建築のフィールドワークを続ける。54ヶ国を訪ねて『旅行人』などにエッセイを発表。2007年より**広島県尾道市の空き家再生活動**に関わり、NPO尾道空き家再生プロジェクトの理事として空き家バンク業務を担当。現在、**尾道市立大学非常勤講師**も務める。また2011年から東アジア日式住宅研究会のメンバーとして台湾・韓国をフィールドワーク。2019年に『台湾日式建築紀行』を台北で出版。『中国新聞』にて「台湾に残る日式建築～旅のノートから」を連載中。**台南市観光顧問**(2019-20)。著書・共著『風をたべた日々～アジア横断旅日記』(日経BP社)、『セルフビルド 家をつくる自由』(旅行人)、『小さなまちづくりのための空き家活用術』(建築資料研究社)。地震などで被災した土蔵の調査を続け、BS-TBS「蔵の中には何がある」に高島礼子さんとともにレギュラー出演(～2020)。



◎ **料金 お一人様あたり(税込み)**

<p>基本料金 7日間すべて参加</p>	<p>181,000円 宿泊あり(1名様1室)</p>				
<p>各日個別料金</p>	<p>1日目(竹原) 宿泊なし</p>	<p>2日目(尾道) 宿泊なし</p>	  <p>【写真】淡路島・高田屋顕彰館より高田屋嘉兵衛 肖像画と和磁石</p>		
	<p>17,000円</p>	<p>20,000円</p>			
	<p>3日目(鞆の浦) 宿泊なし</p>	<p>4日目(岡山) 宿泊なし</p>	<p>5日目(神戸) 宿泊なし</p>	<p>6日目(淡路島) 宿泊なし</p>	<p>7日目(大坂) 宿泊なし</p>
	<p>21,000円</p>	<p>22,500円</p>	<p>—</p>	<p>30,000円</p>	<p>21,000円</p>
<p>ホテル手配</p>	<p>ご希望の方には、渡邊先生と同じホテルを手配いたします。ホテル実費+手配手数料(1650円・税込)</p>				
<p>セミナー参加割引</p>	<p>『オンライン北前船セミナー』ご参加の方は、参加回数に応じて割引いたします。(割引ご利用は1回限り) 2~3回：2500円 4~6回：5000円 7~8回：8000円</p>				
<p>銀行振込割引</p>	<p>旅行代金を銀行振込でお支払いのお客様は、次の割引をいたします。 旅行代金が10万円以上→3,000円割引、旅行代金が5万円~10万円未満→1,500円割引</p>				
<p>追加手配</p>	<p>集合以前・解散以降の個人的なご旅行について、何なりとご相談ください！</p>				

◎ ご注意・ご案内

料金に含まれるもの	料金に含まれないもの
<ul style="list-style-type: none"> ホテル6泊(税・サービス込み)※全日程お申込者のみ 散策時の交通費(各自払い以外のもの) 4日目の新幹線代(岡山→新神戸)※全日程お申込者のみ 旅程記載の入場料・入館料 ガイド料(渡邊先生)※5日目を除く全日程 ガイド料(西股先生)※7日目午前のみ ガイディングレシーバー 移動エスコート(弊社スタッフ) 弊社手配手数料(宿泊費用・その他手配費用に該当する手数料)・クレジットカード決済手数料 	<ul style="list-style-type: none"> 集合・解散場所までの交通費(新幹線・JRなど) 都市間移動交通費※例：尾道→福山など ホテル代金※各日個別お申込者 旅程に記載のないお食事・お飲み物代金 フリータイムの交通費・入場料など その他、お土産など個人的な費用 旅程に記載のないサービスに関する費用



【写真】
淡路島・
高田屋顕彰館より
北前船 船模型

※ 弊社スタッフは現地移動と宿泊施設チェックインのお手伝いをいたします。

◎ キャンセル規定

お申込み時～ツアー開始31日前	⇒	5% ※
※キャンセルの場合はメールまたは電話にてお申し出ください。 キャンセル料(カード決済手数料5%)を控除した金額をお客様のお支払いクレジットカードへ返金します。		
ツアー開始の30～15日前	⇒	50%
ツアー開始の14～8日前	⇒	80%
ツアー開始の7日前より	⇒	100%



千光寺から望む尾道水道
今も昔も多くの船が行き交う瀬戸内海最大の港町

◎ 最少催行人数： 5名様 (最大10名様)

◎ 通訳は同行しませんが、外国人のご参加歓迎！ (通訳が必要な場合はお問合せください！)

◎ 旅行形態：手配旅行(宿泊を含む場合)

◎ お申込・お問合せ：(株)アイ・ティ・エス/アイ・トラベル・スクエア
website: <https://i-travel-square.tokyo/kitamaebune-2> →
email: info@i-travel-square.tokyo tel: 03-6706-4700

